

令和4年度 第3回豊田市藤岡南地域会議 議事録

開催日時	令和4年6月28日(火)	開会	閉会
		19時00分	20時30分
会場	藤岡南交流館 多目的ホール		
出席者	委員 13名出席(欠席者:足立委員、平野委員、三宅委員、森井委員)		
	藤岡支所 中川支所長、佐藤副支所長、林担当長、中村山田市議、渡部藤岡南交流館長		
次第	1 「豊田市民の誓い」唱和 ※省略 2 開会 藤岡南地域会議会長あいさつ 3 議事 (1) 「提言」に向けた地域課題の抽出について 4 協議 (1) 「提言」に向けた検討について ～課題の追究～ 5 報告 (1) 委員からの報告(各団体の活動など) (2) 指定避難場所開設・運営訓練について(実施概要) 6 事務連絡 (1) 地域会議ベストの回収について(継続委員のみ) (2) 地域会議資料のデータ受取について(希望者のみ)		

■議事(要約)

3 議事

(1) 「提言」に向けた地域課題の抽出について

定例会での「提言」に向けた地域課題の抽出について、前回定例会での意見をまとめ、会長から抽出方法について(案)を説明した。委員が所属する団体、自治区長に対し、訪問や意見交換会の方法で複数のテーマの地域課題を聞き取ることに決定した。主な意見は次のとおり。

- ・藤岡南地域の各種統計や過去からの課題等の情報からテーマが絞れるとよい。
- ・委員が主体的となって聞き取りを行う。
- ・聞き取りをすることで、新たな情報(課題)が得られる。
- ・団体への訪問は定例会に合わせて訪問するのか、詳細を決めてほしい。

4 協議

(1) 「提言」に向けた検討について ～課題の追究～

地域から出された課題に対して「誰が、何をどのような課題解決に取り組むべきか」具体的な対策を絞りこむまでのステップとして、課題解決の手順に当てはめて、委員から出された課題を追究し、現状と原因を深掘りするための意見交換をA～Cの3つのグループに分かれて行った。

主な意見は次の表のとおり。

A	防災	目的	災害時、高齢者世帯、一人で行動できない方等を含む全ての住民が安全に避難できる
		目標	自治区関係者等が災害時にとるべき行動を理解し、普段からコミュニケーションに努める
		①課題	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に対する不安 ・避難行動の手順の理解 ・安否確認の方法（民生委員は一人世帯の確認）
		②現状	大規模災害、大地震に対する話題が取り上げられている中、避難行動等の準備不足
		③原因	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者同士の情報共有ができていない ・誰かがやってくれるだろう（自治区、市、国） ・近所づきあいが希薄 ・防災活動訓練は、主に御主人が参加
B	交通	①課題	国道419号の通行車両が増加し、交通渋滞が激しくなり、事故発生の危険高まっている
		②現状	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい団地が増え、通行車両が増えている ・児童の人数が増え、交差点横断者が増えている
		③原因	<ul style="list-style-type: none"> ・国道を迂回するバイパスができていない ・西中山辻貝戸交差点が狭いため右折車両が並ぶ ・歩行者が信号で渡りきれず、滞留している
C	防犯	目的	犯罪のない安全な街
		目標	犯罪をさせない街
		①課題	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの数と質が追い付いていない（顔、車のナンバーがはっきりわかるレベル） ・ねらいやすい街
		②現状	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラがどこに設置されているかわからない ・犯罪が多い ・ランクルが盗まれやすい ・犯人の方が情報通
		③原因	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅が増える ・グリーンロード等の高速道路が近い（22時以降無料） ・人、金、物が集まると犯罪が増える
		対策	<ul style="list-style-type: none"> ・青パトを昼間も運行 ・個人に補助を出してもらい防犯カメラを設置（メンテナンス付）

5 報 告

(1) 委員からの報告（各団体の活動など）

会長より活動報告があった。

(2) 指定避難場所開設・運営訓練について

藤岡南地域課題解決事業「災害時に行動できる人材育成事業」について、今年度の指定避難場所の開設・運営の体験訓練の実施概要を説明した。

【今後の開催予定】

第4回地域会議（7月26日（火）午後7時から藤岡南交流館 多目的ホール）